

5) 生活困窮者対応の充実 【予算額 一 千円】

生活全般における困りごとの総合的な相談窓口として「くらしのサポートコーナー」を区庁舎2階に開設している。

相談に訪れた区民から丁寧に相談内容を聞き取り、本人の同意のもと支援プランを策定するが、「くらしのサポートコーナー」だけで解決できる案件は少数である。すでにある相談機関や各種団体、関係機関との連携による適切な支援を実施するため、支援プラン策定にかかる支援調整会議への参加を求めるとともに、「くらしのサポートコーナー」による事例報告や参加者が相互に意見交換できる場を設定する。

目 標 生活困窮者自立支援にかかる関係機関との事例報告・意見交換会を実施するとともに、支援プランを策定する際の支援調整会議において、外部の関係機関と連携する割合を30%以上とする。

結 果 ・外部の関係機関と連携した支援調整会議の割合：47.11%
・関係機関との事例報告・意見交換会：2回実施

自己評価 目標達成

取組実績

平成28年度

- ・新規相談受付件数：299件(平成29年1月末時点)
- ・支援プラン策定数：88件(平成29年1月末時点)

4 健康寿命の延伸

- ・生活習慣病を予防するため、一人ひとりに応じた食生活の改善や適度な運動の取組み方法など、健康的な生活習慣についての啓発を行い、健康づくりを支援する。また、11月の健康月間には、区内の健康増進活動を行っている事業者や団体・グループなどと連携・協働して、区民が主体的に生活習慣の改善や健康づくりに取り組む機会や場を提供します。
- ・疾病の早期発見につながるよう、がん検診や健康診査を受診しやすい環境整備を行うとともに、積極的な広報を行います。

1) 区民の健康増進 【予算額 527千円】

運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の自主的な健康づくりをさらに進めるため、これまで養成してきた運動サポーターと協働して運動・健康づくり講座の開催を区内全域に広げ、区民の健康の保持・増進を促すとともに、運動を中心とした健康づくり全般の知識の普及、啓発を図る。

特に11月を港区健康月間と位置付け、健康づくりイベントの開催にあわせて、健康増進活動を行っている団体やグループ、関係機関、事業者等と連携して、区民が気軽に参加できるような健康づくり支援の取組みを行う。

目 標 健康月間中に健康づくり支援の取組み協力を得た団体、グループ、関係機関等：17団体以上

結 果 25団体